高橋のぶひろ
予算特別委員会で一般質問

平成20年3月12日に行われた東京都議会予算特別委員会にて、高橋のぶひろが一般質問に立ちました。予算特別委員会は都の予算を審議する重要な委員会。石原知事をはじめ、4人の副知事や多くの都職員が出席し、活発な討議が交わされました。ここではその要約を掲載します。

予算特別委員会で質問する高橋のぶひろ

緑環境と農地を守れ

のぶひろ　緑環境の確保対策と都市農地の保全について伺う。私は緑を復活させるためには今ある農地や屋敷林を守ることが重要と思う。しかし多額の相続税が大きな障壁になっている。都市農地を含めた東京の緑環境をどう確保するか。

石原知事　今残されている緑は、相続などを契機とした農地喪失や宅地開発で消失の危機だ。策定した「10年後の東京」プロジェクトでは緑の創出、保全に多角的に取り組むこととした。

都市整備局長　良好な都市環境に緑資源は貴重だ。都市政策制度の面からも国に要求していく。

救急医療の充実を

のぶひろ　救急搬送において病院選定に時間がかかり残念な事例が起きている。比較的医療機関に恵まれた東京での事例に都民の不安は増している。

福祉保健局長　救急医療対策協議会で救急医療情報システムの充実、満床での一時受け入れ、専門医の休日夜間診療など議論された。

のぶひろ　都としての取り組みはどうか。

福祉保健局長　都指定救急医療機関に取り組み強化を依頼した。受入体制やIT利用など対応可能なものから速やかに実施に移す。

府中街道の整備促進

のぶひろ　多摩の幹線道路は重要な都市基盤だ。府中所沢鎌倉街道線の鉄道との立体交差、都県境の道路整備、地元各市の連携、玉川上水との交差など整備促進の取り組みはどうか。

建設局長　交通の円滑化と渋滞緩和には鉄道との立体交差が必要。府中街道のJR中央線、西武国分寺線との立体交差は協議中、西武拝島線の立体交差には着手している。

高橋のぶひろに答弁する石原知事

都市整備局長　隣接する各自治体と広域的な道路ネットワークの拡充に向け、積極的に連携していく。

東西交通と踏切問題

のぶひろ　南北方向だけでなく東西交通も完成されていない。鉄道の踏切問題も深刻で渋滞や地域分断を引き起こしている。

都市整備局長　都の踏切対策基本方針の中で、西武新宿線など7区間を鉄道立体化の検討対象区間として位置づけている。地元と鉄道事業者と連携を強化する。

名勝小金井桜を守ろう

のぶひろ　玉川上水は水と緑の貴重な環境。名勝小金井桜の保存と整備は。

水道局長　国の史跡に指定された玉川上水の保存と整備に努める。桜並木を守る具体的な方策を検討する。

のぶひろ　グリーンロードのような親しまれる散策路にして、橋を架ける時は散策路と橋が一体となった整備を要望したい。（以上）